樺太北海道方面

知恵横斷道路開鑿

樺太知取恵須取間二十數里の横斷道路開鑿に就ては今春の融雪を期し第一工程として人道の假開鑿をなし、次で第二工程として車行道を築造する豫定であるが、陸地測量部では軍事交通上から見て將來横斷線の必要ありとし今回恵須取町と知取町間に道路を開築の際は陸地測量部に於て横斷路線の測量等は勿論出來得る限りの援助を與へる豫定である、該測量は二等水準點測量とし二粁毎に海拔標高を記したる木杭を打込み將來車道開鑿の場合にも殆んと測量の手入ずに出來るやう正確に調査測量する筈で必要に應じ一等水準點測量をも含める意向で恵須取及知取の兩町では樺太廳の事業公債中より三十五萬圓の分割附與を仰ぎ一氣に車道の開築をなさんと凝議を重ねて居る此の延長は二十六里餘である。

北邊各地各種の救濟工事

室蘭の道路舗裝勞力費一四、〇〇〇圓も決定したので失業勞働者も幸ひに仕事が繋がる譯で、帶廣町の道路新設改良修繕橋梁架設工費二五、〇〇〇圓も決定、旭川の道路用砂利採取費等皆救濟事業として認可されたが和寒村等の凶作地では四五十戸の窮民が飢渇に苦しんで居るので道路用石割の事業を起して之に當らしめ石油空箱一個の割代は林檎大で壹錢五厘、鷲卵大で二錢、鷄卵大で三錢、鶉卵大で五錢を標準とし平均一日三十錢以上四十錢内外の勞銀を得其中で六割は米味噌の現品を渡し四割は現金渡しを標準として居るが成績良好なので他でも續々同樣の救濟に着手する傾向である。

公益上の篤行表彰せらる

飾版下賜

北海道空知郡岩見澤町　石黒長平

昭和五年一月道路敷地トシテ土地七段九畝三歩寄附ス依テ褒章條例第三條第一項ニ據リ曾テ授與セシ紺綬褒章ニ附スヘキ飾版一箇ヲ賜ヒ以テ之ヲ表彰セラル

昭和六年十一月二十六日

賞勳局

褒章下賜

北海道旭川市旭町　吉田　傳吉

昭和四年十二月道路敷地トシテ土地二段九畝六歩寄附ス依テ勅定ノ紺綬褒章ヲ賜ヒ以テ之ヲ衣彰セラル

昭和六年十一月二十六日

賞勳局

表彰

北海道旭川市一條　芫井　德一

昭和六年七月上川郡上川村地内道路新設ノ爲勞力一千百五十人餘外一點寄附ス仍テ褒章條例ニ依リ之ヲ表彰セラル

表彰

北海道函館市末廣町　渡邊合名會社

大正十五年九月道路敷地トシテ土地二畝十一歩餘寄附ス仍テ褒章條例ニ依リ之ヲ表彰セラル

表彰

北海道函館市西濱町　新合名會社

昭和三年六月道路敷地トシテ土地一反九畝十歩寄附ス仍テ褒章條例ニ依リ之ヲ表彰セラル

表彰

北海道函館市地藏町　及能合名會社外五十三名

昭和四年七月函館道路敷地トシテ土地一段九畝十歩寄附ス仍テ褒章條例ニ依リ之ヲ表彰セラル

表彰

北海道函館市辨天町　岩松峰次郎

昭和四年十一月函館道路敷地トシテ土地七畝二十八歩寄附ス仍テ褒章條例ニ依リ之ヲ表彰セラル

表彰

北海道函館市榮町　齋藤大一郎

昭和五年二月函館道路敷地トシテ土地三畝十四歩寄附ス仍テ褒章條例ニ依リ之ヲ表彰セラル

表彰

北海道函館市壽町　松岡　陸三

昭和四年十二月函館道路敷地トシテ土地二畝十歩寄附ス仍テ褒章條例ニ依リ之ヲ表彰セラル

表彰

北海道函館市鶴岡町　加藤　喜七

昭和五年十一月函館道路敷地トシテ土地二畝十歩寄附ス仍テ褒章條例ニ依リ之ヲ表彰セラル

表彰

北海道函館市船見町　稱名寺

昭和四年十二月函館道路敷地トシテ土地三畝十三歩寄附ス仍テ褒章條例ニ依リ之ヲ表彰セラル

昭和六年十二月一日

賞勳局

東北方面

窮民救濟の道路工事

未曾有の凶作に腦む東北青森地方の救濟對策について內務省では各地方當局の申請案に基き審議を急いでゐたが、青森縣に對

しては食糧給與費九萬二千六百六十九圓種籾供給費四萬九千九百七圓計十四萬二千百七十六圓を罹災救助資金中より貸出し困窮小農家約一萬戸を救濟し食糧給與以外勞働賃銀取得を目的とする救濟土木事業は內務大藏兩省協議の結果五十五萬圓を國庫より補助して窮民救濟の道路改良工事に就かしめ地方費に對しては國庫の預金部より低利資金の融通をなし其利子補給と共に昭和六年度追加豫算並に七年度豫算に計上する由である。

陸前大島に海濱道路

宮城縣本吉郡大島村は海產二十萬圓陸產五萬圓計二十五萬餘圓であるが、之を三十萬三十五萬位いに增加して道路交通等の設備も改良して生活狀態も產業狀態も進步、增加、發展と言ふ目標に進む事となり其第一着手として燈竿より東海岸を經て外濱まで二里餘の開設計畫成り昭和七年度より着手の豫定である。

五箇町連繫の道路請願

宮城縣玉造郡岩出町より加美郡西部一帶へは車道なく、屢々道路改良の必要を叫んで居つたが近時殊に物資の運搬量增加して不利不便到底忍ぶ可からざる狀態となつたので、岩出山、宮崎小野田、加美石、廣原西大崎以上五箇町村連署して縣當局に對し岩出山町を起點とし南澤、上多田川、加美石を經て宮崎に出で更に小野田村、中羽前に通ずる約四里を產業道路として新設し且つ縣道編入方を請願したが若し之れが實現すれば從來人肩により僅かに運輸交通せし狀態より一足飛びに新式交通機關の運用を見るも遠からざるべく加美石、多田川、南澤其他特に多額の產出ある薪炭類もトラックにより大量運搬を見從つて運賃等も非常に安價となるであらう。

高田橋工事愈々進捗

橋長三百間昭和六年四月に起工の若松市外高田橋は豫想以上に工事捗どり既でに大部分の工事成りて塗裝其他に取りかゝつて居るから豫定の竣工期よりも二月餘も早く開通するであらう。

築館の左足橋開通式

鐵筋混土に改築中であつた陸前築館町の左足橋工事は愈々完成したので去廿八日午前十一時開通式を擧行した、橋の袂には前夜來徹夜で式場を設らへ、其中央に齋壇を左右兩側に齋主來賓等の席を設け、奏樂裡に齋式を了り、開通式も型の如く午後一時に終り、次で吉例の渡り初めは始まり栗原郡第一の高齡者八十五歲の狩野梅子先頭を切り、橋の右側成田區よりは三夫婦として鈴木良助(七二)妻とら(六七)、長男市三郎(四七)、妻久代(四八)、孫福治郎(二六)妻さとみ(二三)、左側の左足區よりは高橋喜作(七四)、妻松代(六九)、長男喜代作(五二)、妻ちか(四九)、孫一郎(三二)、妻さと(三〇)を始め喜びに充ちた町民千餘の小

學校兒童等多數渡り初めをなし非常の賑ひであつた。

秋田の蛇ノ崎橋開通式

改築中であつた國道五號線平鹿郡横手町地内蛇ノ崎橋の架替工事竣工し舊臘十二月五日午前十一時同橋の袂で嚴かな開通式は擧行された、片桐土木課長開式を宣し警察署裡に神官等の奉仕で修祓、降神、供饌、祭詞等を終り次で齋主、知事、内務大臣代理道路改良會長代理、土木課長、縣會議長、貴衆兩院議員總代、横手町長代理、同協賛會長の玉串奉奠ありて昇神の後、撤饌し、工事の概要に就ては土木課長より朗讀し次で神方知事の式辭、縣會議長、瀧澤町長の祝辭並に内務大臣、道路改良會長の祝電披露ありて一旦式を終り、正午より芽出度き渡り初めに移る頃より群衆は橋の兩袂を埋めて些の身動も得ならぬ樣に在鄉軍人や警官必死の努力により漸やく午後二時半之を了し來賓一同は三時山田館の賛協會祝宴に招かれ町内は國旗軒提灯を、また式場附近には萬國旗を張りめぐらし紅白の幕内には三ケ所に舞臺を設けて手踊り、里謡、田舎芝居等各種の餘興あり近隣町村からも數萬の見物押し寄せ露店の商品等は夕刻頃殆んど賣り盡され近年稀に見る賑ひであつた。

公益上の篤行表彰さる

表彰

宮城縣仙臺市南小泉　有限責任文化住宅信用利用購買組合

昭和五年十一月道路敷地として土地八反五畝六歩寄附ス仍テ褒章條例ニ依リ之ヲ表彰セラル

昭和六年十一月二十六日

賞勳局

鹿島臺の木間塚橋開通式

工費十一萬二千圓で昭和四年十月二十七日起工した陸前遠田郡南鄉と遠田郡の鹿島臺を繋ぐ縣道涌谷線鳴瀬川の木間塚橋は竣工したので舊臘二十六日午前十一時同橋の袂に式場を設けて盛大な開通式は擧行された、朝來非常に寒冷であつたけれ共近鄉近在の見物人三萬に達し地方では稀に見る盛況であつた、同橋はプレートガーダー最進歩式の型で徑間十二、四四米、一九連、橋長二三六米を有する美事なものである、當日出席した主なる人々は、知事代理坂本内務部長、坂元内務省仙臺土木出張所長、伊藤土木課長以下關係吏員並に貴衆兩院議員代表者、縣會議長以下各議員三十餘名で式後伊藤源左衞門、松田丹司の兩氏邸で茶會を催し來賓を歡待した。

信越方面

公益上の篤行表彰せらる

飾版下賜

長野縣松本市白板　折井仲三郎

昭和三年十二月道路敷地とし土地一段五畝八歩寄附ス依テ褒章條例第三條第一項ニ

據リ會テ授與セシ紺綬褒章ニ附スヘキ飾版一箇ヲ賜ヒ以テ之ヲ表彰セラル

昭和六年十一月二十六日

賞勳局

褒章下賜

長野縣松本市和泉町　近藤　ひろ

昭和六年一月道路敷地トシテ土地四畝歩寄附ス依テ勅定ノ紺綬褒章ヲ賜ヒ以テ之ヲ表彰セラル

褒章下賜

富山縣西礪波郡福岡町　壽原　靜

昭和六年四月道路敷地トシテ土地五反五畝十八歩寄附ス依テ勅定ノ紺綬褒章ヲ賜ヒ以テ之ヲ表彰セラル

昭和六年十一月二十六日

賞勳局

新潟の道路橋梁改修

新潟縣に於ては失業者漸增のため七年度事業を各郡各所に割當て左の如く救濟工事を施行する事となつた、岩船郡では葡萄府屋線中鹽野町と關川府屋線中の大川谷と岩崩村上線の三面、北蒲原郡では安田村杉線と葛塚水原線中の長浦と島見濱葛塚線中の木崎と南濱新發田線中の聖籠と濱浦谷内松ケ線中の南濱と築地中條停車場線中の中條東蒲原郡では笹谷津川線、中蒲原郡では田上五泉線中の橋田五泉と白根新津線中の小合、白井、新潟福島線中の石山龜田、龜田松ケ崎港線中の大江山、大野松ケ崎港線中の石山、出戸村松線中の七谷、西蒲原郡では大野會根線の黒崎と卷間瀨線と浦濱卷線中の浦濱峰岡間と内野彌彦線の岩室、南蒲原郡では加茂卷線と見附三條線と大江三條線と池の島見附線の葛卷と加茂三條線の大崎井栗、古志郡では栃尾小千谷線の東山と西谷、桂谷長岡線の上組と上見附停車場田井線中の北谷、種苧原小出線、新潟市では白山停車場線、三島郡では犬伏長岡線の深才と岩塚、寺泊與板線の桐島と柏崎長岡線の日越、刈羽郡では山橫澤北條停線と關原廣田線の北條と松代柏崎線中の南鯖石高柳と新潟安塚線中の柏崎、犬伏長岡線中の上小國と橫澤、北魚沼郡では竹ノ澤堀ノ内線と末ノ澤小出線中の入廣瀨と小出栃尾又線の湯ノ谷と種苧原小出線中の廣瀨、中頸城郡では石塚高田線中の髮太、百間町停車場湯町線の大瀨と柿崎新井線と石會根柿崎線の黒川と黒岩、青柳高田線の櫛池、東頸城郡では山口河川原停線の安塚と荻ノ島浦川原停線の旭及び湯山十日町線中の松ノ山、菖蒲浦川原停線の大島、西頸城郡では湯ノ河内梶屋敷停線中の上早川と上町尾糸魚川線中の西海と根知、中魚沼郡では岡野十日町線中の仙田と上野、松代小千谷線中の橋と眞人、十日町停車場線及び芋坂小千谷線中の山邊と吉谷、南魚沼郡では中里湯澤線の土樽、荒山浦佐線中の東と浦佐、佐渡郡では小田相川線中の高千と金線、新潟相川線中の河崎、松ケ崎小木線の赤泊、水津松ケ崎濱線、小田兩津線の內海府等であつて中頸城郡直江津町の荒川橋も約十萬圓で架替へる筈である。

松本市の道路簡易鋪裝

長野停車場より善光寺前通りの改正道路が簡易鋪裝劑ビチユマルスで文明時代の道路として、縣下に其の先鞭をつけて以來松本市其他に於ても計畫を進めて居たが、何分他の府縣と異なり冬期降雪多きため鋪裝種類材料等攻究の末曩に松本市ではエムニスを以て鋪裝の結果從來の面目全く一新し舊臘來降雪數回に及ぶも路面整然たるもので之を見た淺間温泉では本年融雪を待ち大々的に鋪裝施行をやる計畫中である。

關東方面

公益上の篤行表彰せらる

褒章下賜

埼玉縣大里郡吉見村　長島　甚助

大正十五年十二月埼玉縣熊谷町道路敷地トシテ土地二畝十八歩寄附ス依テ勅定ノ紺綬褒章ヲ賜ヒ以テ之ヲ表彰セラル

地方通信

昭和六年十一月二十六日

賞勳局

表彰

千葉縣千葉市字千葉　山内　啓次

昭和五年六月道路敷地トシテ土地四畝二十歩餘寄附ス仍テ褒章條例ニ依リ之ヲ表彰セラル

表彰

正五位勳六等　關根　重治

昭和五年八月千葉市道路敷地トシテ土地一畝十四歩寄附ス仍テ褒章條例ニ依リ之ヲ表彰セラル

表彰

千葉縣千葉市字千葉　吉田吉太郎

昭和六年三月千葉市道路敷地トシテ土地一畝十四歩餘寄附ス仍テ褒章條例ニ依リ之ヲ表彰セラル

昭和六年十二月一日

賞勳局

自動車事業者の路面修理

地方の經濟難は昭和五、六年共に甚だしく道路の維持修繕等は手廻り兼ねる狀態なので、自動車營業者の如きは身を切る思ひでタイヤを摺り減らして居るが、之れでは堪まらぬと自動車事業者が自發的に三十哩餘の路面修理を斷行の美談!!　茨城縣水戸から千葉縣我孫子に至る道路は利根川橋開通以來自動車其他の交通量頓に增大し爲めに路面の損傷甚しくトラックの如きは荷積みの儘轉覆せる事さへある狀態なので自動車業者等は期せずして意見相一致し相共に修理に盡くすことを申合せた譯である、水戸より若柴の間は稍可なるも若柴より我孫子に至る間は酷しく損傷して居るので差當り此區間を修理する事になつた。

失業救濟の道路工事

東京府が失業救濟道路事業として施行に決したるものは(一)府道三十四號戸塚町高

田地內延長三百九十七米八、幅員二十一米八、其の工費三十四萬一千六百圓(二)府道百一號澁谷町地內延長四百九十一米八、幅員十四米八、此の工費二十二萬九千四百圓(三)同澁谷町地內延長二百二十七米、幅員十四米、工費二萬三千四百圓(四)放射線第二號(府道十九號)大崎町地內延長百九十七米六、幅員二十五米工費三萬五千二百圓(五)補助放射線十八號(府道百二號)目黑町地內延長七百二十二米九、幅員十五米、工費二十萬五千二百圓(六)環狀線第六號の一淀橋町地內、延長四百七十八米五幅員二十二米此工費七萬五百圓等であるが其他冬期失業救濟道路工事として左記工事を起し其れ等の救濟工事に當らしむる手續中である、四十九萬八千圓(大井)、十四萬八千八百圓道路舖裝(瀧野川)、三十八萬圓道路舖裝、七萬三千八百圓道路下水(龜戶)等である、尙ほ多摩川支流の棚澤橋は本田林學博士が推賞する奧多摩の遊覽道路に架するもので附近の風光に和するやう設計されてある。

月形橋は三十四萬圓

冬期に於ける失業勞働者に對し東京市は工費七十五萬圓で道路舖裝を施行中であるが其中四割三十萬圓は國庫より補助されるものである、尙芝區宇札の辻なる淺野紫雲閣前より芝浦に通ずる都市計畫街路は豫ねてより築造中であつたが其中で道路は舊臘中に完成したるも省線の鐵路を橫斷する月形橋が殘されて居るので當局者は種々審議の末之は鐵道省に委託して架設する事とし本年夏季頃にはまた東京の名所名物誌上に一つ加わる譯で橋長は貳百七十三米幅員二十六米の大陸橋である。

東海方面

天龍川橋梁の鋼材

靜岡縣の天龍川橋に就ては前號に詳報して置いたが同橋梁用鐵骨加工に就ては所要鋼材二千七百餘瓲に達し請負金額にして數

十萬圓に上るため不況の幌尻に憫んで居る各鐵骨加工業者は競爭の姿であるが大倉土木では瓲當り八十圓見當と見て居る有樣なれば鋼材値段は從つて六十圓以內の計算となり此の點は頗るデリケートな問題となつて居る。併かし若し所期の價格にて引受困難の場合は材料等を大倉より支給して加工のみを入札する方法に出るものゝやうである。

三重縣道路橋梁復舊工事

昨年九月二十六日同十月十三日の暴風雨は縣下全般殊に南勢及紀州路を襲ひ近年稀に見る大洪水にして道路橋梁河川海岸堤防の被害甚だ敷く就中銚子川の濁流は遂に堤防を打ち破り、河口相賀町の如きは人家二十數戶流失死傷者十數人を出し慘狀を極め又大臺ケ原の中心流域に當る、南輪內、尾鷲、九鬼、新鹿、泊等の數ヶ町村は殆んど道路橋梁、耕地の大部が押流されたのである。

縣土木當局は直ちに土木工事の復舊計畫

を樹て一時應急工事を施すと同時に國庫補助を仰ぐ事とし十二月一日から内務省より査定官出張して復舊工事の査定を行ひ、この程これを完了した、今これが査定の結果を見るに縣要求工事額百二十一萬六千圓に對し檢査額七四八、〇〇〇圓—三、八五の減を示し又町村工事にありては要求額一二一〇〇〇圓檢査額七四八、〇〇〇圓—四六四の査定減を示した、外工事の主なるものを揭ぐれば橋梁復舊は宮川に架設の度會橋、船津川に架設の兩鄕橋、赤羽川に架設の長崎橋、銚子川に架設の相賀橋尾鷲川に架設の中川橋等である。又河川工事は揖斐、木曾、銚子川の堤防護岸、一の宮、大淀町の護岸堤防等である。

關西方面

加都橋美事に竣功

和田山から竹田まで六キロの間に可なり立派な橋が新舊併せて六橋、丸山川に横たはつて東西の交通を連絡するその中和田山の曲尾橋だけが昨年の竣工で中橋、市御堂橋加都橋、久世田橋の四橋は新設又は架替へたものである。竹田から梁瀨に通ずる京都街道の加都橋は昨年三月起工し約八箇月を要して舊臘竣工したが延長七十五米の鐵筋混凝土で勾欄等も洒ひ出しとしモダンな電飾を施し市外に於ける一景觀である。玉置橋工事も順調に進捗して居るから鶯が梅花に戲る頃に開通式を擧げる豫定である。

國道改良事業費割當

失業救濟事業の七年度國道改良費中北海道及び神奈川縣に對しては、全額を國庫支辨とし其他は國庫二分の一府縣二分の一負擔の筈で關西附近に於ける分は左の如くである、京都府六〇〇（單位千圓）、大阪府一二〇〇、滋賀縣三〇〇、愛知縣一、一〇〇三重縣四〇〇、靜岡縣三〇〇、山梨縣三〇〇、長野縣四〇〇、石川縣一二〇、富山縣一二〇、和歌山縣三〇〇、兵庫縣五〇〇、岡山縣四〇〇、廣島縣四〇〇、山口縣三〇〇等である。

中國四國方面

明加國道鋪裝工事捗る

明石加古川間國道改良工事は毎日二千三百餘の土工が鋪裝工事に從事して居り明石魚住間、大久保方面は既に竣工して坦々たる新道に氣持よく自動車が飛んで居るが、此處では最新式のロードフィニッシャー機を使用して居るので、鏡の面のやうな道路が美事に出來上るのを見物がまた黑山のやうである。同機はコンクリートを路上に撒らまき自動的に廻轉して混凝土の叩き固めと路面の仕上を同時に行ふことが出來る最も進步的のものである。

公益上の篤行表彰せらる

褒章下賜

山口縣熊毛郡勝間村　林　安次郎

昭和五年三月阿武郡萩町道路敷地トシテ土地六畝二十歩寄附ス依テ勅定ノ紺授褒章ヲ賜ヒ以テ之ヲ表彰セラル

昭和六年十一月二十六日

賞勳局

表彰

勳六等　羽村初太郎

昭和五年二月山口縣玖珂郡岩國町道路敷地トシ土地一畝二十四歩寄附ス仍テ褒章條例ニ依リ之ヲ表彰セラル

昭和六年十二月一日

賞勳局

讃岐屋島の林道成る

溪雲雜樹に埋もる事一千百二十餘年、弘法大師が讃州に屋島寺を建立の際、佛法弘通のため永遠の鎭護として屋島の頂上南嶺に一切藏經を埋置して國家安康生民爲樂を祈つた史跡は、歲月の推移に連れ老松繁茂して山道を蔽ひ、只だ經塚の名のみ古老によりて語り傳へられて居たが、郡築紫陽氏の勸めや金剛講社等の切なる希望により屋島ケーブル南嶺驛から經塚の靈跡に到る山道の改修工事が愈竣工し、千古の神祕を籠むる經塚の靈場も玆に世人の眼前に展開され縣內數ケ寺の住職は十一月二十一日參拜して大般若修行法會を勤行し其後引續き參詣者相續く有樣で四國遊覽電車も、登山鐵道會社も、屋島遊覽ケーブルも、諸寶店等もホクホクで、今回の道路よりすれば冠嶽の景勝も勞なくして絕景を賞するに便利で金剛講では來る二十一日千人詣を催すことになつて居る。

九州方面

大隈後藤寺線開通式

工費十萬餘圓で昭和五年八月以來改築工事中であつた福岡縣後藤寺大隈線及び後藤寺金田線は舊臘十二月三日各其の改修並に鋪裝を了したので、同月六日西本町廣場で嚴肅なる開通式は擧げられた、午前十一時第一振鈴にて山路町長は來賓一同を式場に案內して、之より開通式を擧行する旨を告げ、第二振鈴にて全員總起立『君が代』の國歌を重奏し次で齊員奉仕獻饌の行事型の如くあり三浦伊田土木管區長は來賓を前に神前に進みて右工事の報告をなし、其工事の必らず正確なるを神明と縣民に誓ひ玆に祭事の幕は降りて川淵福岡縣知事は祝辭を朗讀し縣會議長、松田檢事、協贊會長等各祝辭朗讀の後內務大臣並に道路改良會長の祝電披露ありて再び總員起立「君が代」を奏し、第三振鈴にて、兩陛下の萬歲と、兩縣道開通の萬歲を坂本土木課長發聲により全員双手を擧げて三唱し、それより町主催の祝賀會は町役場樓上にて開催されたが後藤寺上下兩券の美形二百餘其酒間を斡旋し宴酣なる頃山路協贊會長の挨拶あり之に對し坂本土木課長は來賓側を代表して謝辭を述べ同地方發展の爲めに千盃して一同之に和し午後四時散會した。

失業救濟の道路工事

北九州に於ける失業勞働者數は前年より約一割增加して居る模樣である、縣は之が對策として、道路の改築路面の改修を行ひ毎月四五千人に仕業を與へんと計畫中であるが、小倉、門司、若松、戸畑、福岡の五市でも之れに應じて左の如き失業者救濟事業を起興する豫定である、若松市では道路の新設と整地の工事費一〇六、〇五三圓(勞力費六〇、四六七圓)、使用人員四〇、〇八二人、福岡市でも大濠埋立其他計畫して居り戸畑市では道路新設及整地工事費一六二、五〇〇圓(勞力費八一、〇〇〇圓)使用人員五〇〇〇人、門司市では道路新設と河川改修費九四、六九八圓(勞力費三四、二〇九圓)使用人員二四、〇八九人、小倉市では道路改築及市區改正總工費四三一、六二五圓(勞力費二〇七、五二六圓)使用人員一一六、五三三人其他八幡市、大牟田市等でも失業勞働者對策を攻究中である。

小倉戸畑新縣道舖裝

小倉土木管區で施行中の小倉戸畑間新縣道の舖裝工事は舊臘愈々竣工した、延長は二キロ三百五十五米、幅員九米、使用人員八千九百二十九人賃銀一萬千五百九圓で折尾土木管區の分が竣工すれば小倉戸畑の兩市を繫ぐ威力ある新交通路が出現し兩市の交通運輸に一新時期を劃するであらう。

宇美橋と川原橋成る

福岡縣宇美町馬場口に架設した宇美橋は頗る美事に竣工したので、同町の最高齡者たる安河內正三郎(八十四歲)妻ツネ(八十五歲)を先頭に芽出度き渡り初めを十一月二十八日行つた、知事代理として坂本土木課長の外中野土木管區長、櫻羽宇美町長、志須惠仲原村長縣會議員其他は子安館で祝盃を擧げ、渡り初めの際は橋の兩側で祝ひの餅撒きがあつた、同郡青柳村の川原橋も宇美橋同樣昨夏起工以來工事を急いで居つたが宇美橋より一日早く二十七日渡り初めをした、中野技師、小河工事主任、落石青柳町長、各村會議員有志等は青柳町旭屋に高齡者十餘名を招いて祝賀の宴を張り高砂を謠つたので金婚式や銀婚式を見るやうであつた。

筑紫路開拓の通恭贈位

僧日蓮が鎌倉の扇ヶ谷で法の道を說いて世人を警指して居た頃、鎭西では交通路の修覆や開拓に專念した地頭があつた。文永八年には松浦川に沿ふて修道し同九年には武雄伊萬里附近一帶より火の海に亘る交通道路を修めて世に益し尙ほ進んで地方の開拓に着手せんとして居るうち、玄海に外敵迫まり素志は中斷したけれども、今度は武を以て祖國の爲めに克く奮戰して功績を立てた偉人がある、その錦江通恭が昭和六年十一月二十八日其功勞を思召され贈從四位に叙せられたのである、後宇多帝の文永十一年十月二十日蒙古の大軍が博多沖に來寇

すと知るや橘六郎通恭は肥前執行種宗の檄により太宰少貳經資の許に副將として八幡大菩薩、龍王大明神の旆を翻へし、千餘の郎黨引具して友軍たる竹崎季長と共同戰線を構へ今津半島に敵軍の上陸せるを今宿臺上より認むるや廉原方面に之を牽制して遂に偉功を顯はし、後久弘安の役に於ても紛骨細身君國の爲めに盡くしたる功により錦江の白石鄕等舊領に數倍する神崎庄其他を加賜されたので、神崎六郎或は錦江六郎とも稱され、龍王明神の幢を翳し齋戰常に陣頭に立つて指揮したといふので龍王通恭とも呼ばれて居る、祖先は肥前守藤原幸通の裔日向太郎から出で橘姓を名乘り代々忠君愛國の誠を盡した名家といふことである。

失業救濟の縣道改築

大分縣知事より豫ねて內務省に申請中であつた失業勞働者救濟の府縣道改築事業の件に對しては愈々左の通り認可された。

一、實施設計認可　立石安岐線改築、山邊下鄕停車場線改築、飯田別府線改築

一、新に失業救濟事業に追加承認併て其實施設計認可

森　小國線（玖珠郡南山田村道路改良第一區）延長二千五百六十九米

二日市御越線（宇佐郡津房村內二箇所）第一延長一千七百三十米、第二延長六〇六米

竹田、小野尾停車場線（直入郡長湯、都野兩村界）延長一千九百三十一米（以上請負入札）

蒲江、佐伯線、日田隈府線、戸次坂ノ市線

一、失業救濟事業より除外承認

日田中津線、日田內ノ牧線、下浦津久見停車場線、久住大分線、以上であつて豫ねてより懸案となつてる三號線山國橋は工費十二三萬圓を福岡と兩縣負擔で七年度中に架替へるやう兩縣で協議して居る。

小學生道路修理の美擧

曩に神奈川縣や佐賀縣では女學校の生徒が自發的に連絡をとつて道路修理を行ひ、村老及幼弱者を感動せしめたが、今また大分縣直入郡嫗嶽小學校五六年生徒は同村の矢作林道より縣道に通ずる難道が交通上支障箇所除去の必要を痛感し共同的精神作業として遂に之を見違へるほどの良道にしたので、附近の町村民は非常に感激し今後年四季に道路愛護デーを設定して一般交通の利便に盡すやう申合せた。

色利浦代の道路改良進捗

浦島太郎が佐伯灣頭十哩の浦島から魚貝珍瑚を携へて九州へ上陸したのは、日野浦の羽出か、米水津の色利か、または浦代であると言傳へられて居るが、その色利と浦代は舟着の利便なるに反し、道路交通は浦島太郎時代と大差無き有樣で早や一年餘り銳意改良工事に努力中のところ、此程八九步通りまで進捗したから三月花の咲く頃には、色利浦代間に自動車の行き交ふ姿を見られやう。